

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

佐賀県多岐市 多岐市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	16	-	ド透訓	救 臨 災 輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
17,604	6,363	第2種該当	第2種該当	10：1

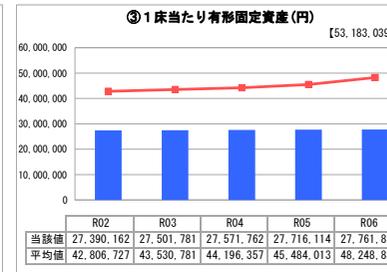
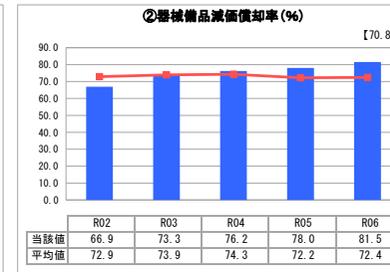
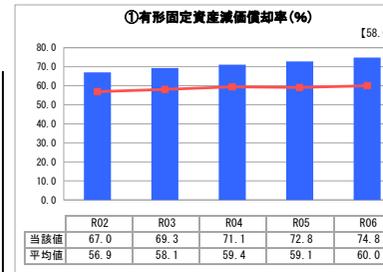
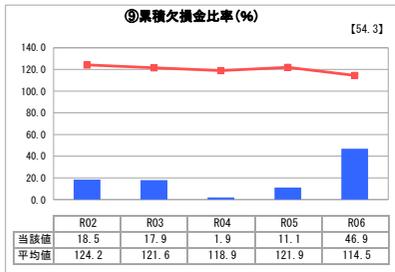
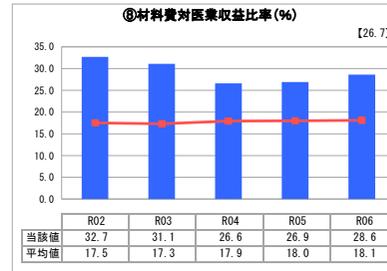
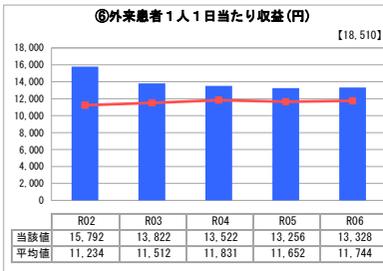
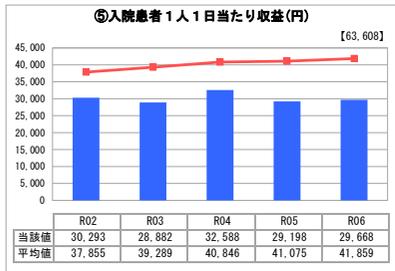
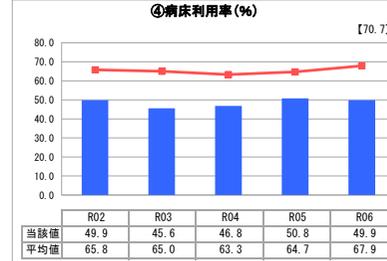
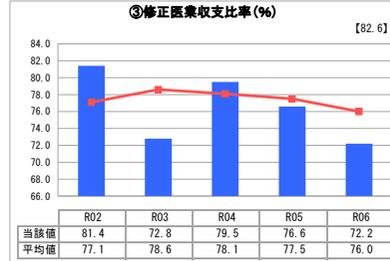
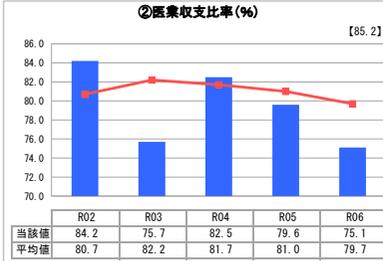
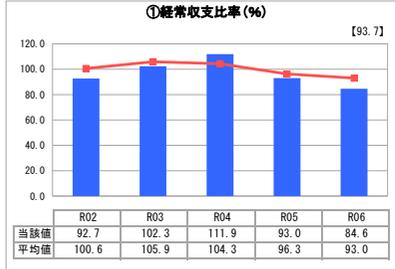
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
60	45	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	105
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
46	28	74

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
□	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

### I 地域において担っている役割

佐賀県の中核医療圏に属し、地域の中核医療施設の役割を担い、内科・整形外科を主な診療科目として、地域に密着した病院事業を展開している。  
病床数は一般病床60床、療養病床45床の計105床である。  
また、救急告示病院及び災害拠点病院等の指定を受けている。

### II 分析編

#### 1. 経営の健全性・効率性について

医業収支比率「75.1%」、修正医業収支比率「72.2%」であり、他会計からの繰入金に依存している傾向に変化はない。  
病床利用率についても昨年とほぼ変わらない状況であり、新型コロナウイルス感染症拡大前には戻っていない。  
職員給与費の増、材料費の高騰による増、そして病床利用率が横ばい等により、経常収支比率が「84.6%」という結果になっており、経営として非常に厳しい状況である。

#### 2. 老朽化の状況について

器械備品減価償却率に加え、有形固定資産減価償却率においても「70%」を超え、いずれも老朽化が進んでいる。  
令和7年度の新病院開院が控えており、現病院における新たな設備投資を極力抑えつつ、現状資産の維持補修により最大限の活用に努める。

#### 全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響も薄れてきたが、病床利用率など感染拡大以前と比較すると少ない状況である。しかしながら人件費増や物価高騰もあり、経営状況は厳しい状況である。  
令和7年度の新病院開院により良い状態でつなぐため、今後一層、患者数増による医業収益増、効率性確保による経費減少に努め、経営改善を図る。

※1「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。